

## 平成 28 年度第 1 回 城陽市環境審議会議事録

日時	平成 28 年 10 月 13 日（木）午後 1 時 25 分～午後 3 時 20 分	
場所	城陽市役所 第 1 会議室	
議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 委嘱書の交付</li> <li>◆ 会長、副会長の選出</li> <li>◆ 会議               <ul style="list-style-type: none"> <li>①平成 27 年度環境測定結果について</li> <li>②平成 27 年度環境マネジメントシステム（J-EMS）実施結果について</li> <li>③城陽環境パートナーシップ会議事業報告について</li> <li>④その他</li> </ul> </li> </ul>	
出席者	委員	新川会長、倉田委員、中原委員、堀井委員、田浦委員、服部委員、宮永委員、奥田委員、堂口委員
	行政	東村市民環境部長、堤市民環境部次長、上羽環境課長、可畑

### < 質疑等の概要 >

#### ◆ 委嘱書の交付

#### ◆ 会長、副会長の選出

城陽市環境審議会規則第 2 条に基づき、互選により「新川委員を会長に推薦する」という意見があり、新川委員を会長に選出。

城陽市環境審議会第 2 条に基づき、会長が中川委員を副会長に指名。中川委員を副会長に選出。

#### ◆ ①平成 27 年度環境測定結果について

事務局より説明。

会長 : ご質問やご意見はありませんか。

委員 : 公共用水域の測定時期は、毎年固定しているのか。

報告書の各項目が環境基準に適合しているかの表記がない項目がある。

BOD の用語説明において、『数値が大きいほど有機物による汚濁が大きい』とあるが、大きいという表現は曖昧であり、無駄に不安感をあおるのでは。

事務局： 公共用水域の測定時期は毎年固定している。表記内容については、今後精査し検討する。

委員： 風向や風速を測定しているが、城陽市における風力発電の可能性は。

事務局： 風力などの再生可能エネルギーは現在注目されているところだが、風力発電については、市では現在検討していない。

会長： 風力発電については、本市においては地形上難しいかもしれない。

委員： PM<sub>2.5</sub>やSO<sub>x</sub>等の測定の予定は。

事務局： 大気環境については、京都府が常時監視測定を行っている。測定局は城陽市内にもある。市で測定する考えはないが、測定結果等、情報を共有することができている。

会長： 京都府の測定結果も当審議会に提供してほしい。

会長： 地下水について、一部環境基準を超過している項目もあるが、今後も測定結果を注視していくこととする。その他、PM<sub>2.5</sub>など人の健康への影響が懸念される項目については、京都府との情報共有など、必要に応じ、迅速かつ適切な対応をお願いしたい。

#### ◆ ②平成 28 年度環境マネジメントシステム（J-EMS）実施結果について

事務局より説明。

会長： ご質問やご意見はありませんか。

委員： 環境目標を決定するプロセスは。

事務局： 環境方針及び環境目的に関連する各課の事業を毎年調査し、各課担当者が目標となる事業を抽出し決定している。

委員： 既に決定している事業を抽出し目標とするのではなく、環境部局がイニシアチブをとって高い目標を設定していくこと、また、環境基本計画も意識した目標の設定も大切である。

委員： ISO14001 の改訂については、どのように対応される予定か。

事務局： 改訂への対応については、外部アドバイザーと協議等しながら進めていきたい。

来年度にはエコプランの見直しを予定しているため、その時期と合わせる方向で検討している。

委員： 法令順守に不備があったとのことだが、その内容は。

事務局： 改正フロン法に基づく簡易点検の未実施が一部の所属であったが、既には正済みである。また、その他の所属等に対しても、改正フロン法について、

適切な実施を周知した。

委員： ISO14001 は、改訂により、リスクベース志向になった。コンプライアンスについては、しっかりおさえておいてほしい。

J-EMS でのコンプライアンスに対する取り組みについては、内部監査での法順守確認の精度を上げるなど、迅速に改善されており、評価できる。

委員： 何点か質問や意見がある。

環境目標とは個々の事業ではなく、本来はもっと大きな別のものであるべきではないか。

環境政策推進組織図は、監査組織から環境管理責任者に矢印が向いているが、これは環境管理総括者に向くべきではないか。

外部アドバイザーや環境管理総括者が、監査員のスキルアップを提案、指示しているが、今年度の実施結果は。

J-EMS に関する研修を、マンネリ化させないための工夫及び受講者の感想は。

環境目標のうち、環境家計簿が未達成となり、今年度は配布回数を増やすとあるが、そのような是正に至った原因は。

公共工事における環境配慮項目について、全体数がわからないので評価できない。

関西電力の電気排出係数が増加している要因は聞き取っているか。

温室効果ガス排出量について、基準年度である平成 13 年度と比較し評価しているが、前年度比の評価もあってよいのでは。

J-EMS エコスクールの取り組みについて、保護者も対象に入れ、取り組みを進めてはどうか。

事務局： ご指摘の表記内容については、今後検討していく。

監査員のスキルアップについては、会議内容の工夫など行っている。

J-EMS 研修会は、受講者からは大変勉強になったと好評で、マンネリにならないよう内容の見直しを毎年行うなど、工夫している。

公共工事における環境配慮事項の表記についても今後検討していく。

関西電力の排出係数の増加は電源構成によるものであり、関西電力からの報告も定期的に受けており、今後も連携を図っていく。

温室効果ガス排出量の前年度比の評価についても今後検討していく。

J-EMS エコスクールでの保護者へ取り組みについては、経過を見ながら、教育委員会部局との協議を行い、検討していきたい。

事務局： J-EMS エコスクールは、これまでの学校の環境取り組みを発展させたものである。保護者への拡大について、例えば P T A などが考えられる。今後検

討していきたい。また、表記内容についてのご指摘だが、報告書は、毎年定例で作成しており、見直す時期だと考えている。

委員：先程の委員のご指摘についてだが、専門的見地からいえば、組織図については間違っていない。委員は独立性、客観性の観点から指摘されたと思うが、各組織の事業監査に合わせて考えればよい。事業監査の手法がこの図の通りであれば、問題ないとする。

監査員のスキルアップについては、環境法令に関する研修をしっかりとされており、評価できる。

環境目標について、数値化できない部門の目標はどうしても手段化してしまう。これについては、アウトカムがどうかを意識すればよい。

J-EMS エコスクールについては、例えばモデル校を設定し、他校に発表するなどの方法も考えられる。

委員：環境記念日の制定についての考えは。

事務局：今のところ検討していない。

委員：環境家計簿については、周知対象の拡大や、日頃の活動が大切だと思う。

委員：J-EMS エコスクールについて、学校が多忙な中で環境取り組みを進めていることは評価できる。

京都市でも同様の取組を実施しており、参考になるかもしれない。

学校でのLED化は進んでいるのか。

また、電気排出係数の増加に対しては、排出係数の低い電力を調達することはできるので検討を進めていくことが重要である。

事務局：学校のLED化については具体的には聞いていない。エコプランでは大規模改修時にはLED等の高効率照明の採用を検討することとしており、環境課から実施を呼びかけている。

会長：学校へのLED化については今後計画的に進めてほしい。

また、J-EMS エコスクールについては、地域も含んだ先進的な事例を参考にされるのもよいだろう。

委員：J-EMS 取り組みを進めるにあたって、職員からの不満、また事務局の苦勞などはあるか。

事務局：職員からは様々な意見があるが、特段の苦勞はない。

### ◆ ③城陽環境パートナーシップ会議事業報告について

事務局より説明。

- 会長 : ご質問やご意見はありませんか。
- 委員 : 報告について、当初の計画とおりにできたのかがわからない。計画した事業の未執行はあるか。
- 事務局 : 未執行はなく、全て計画とおりに実施されている。
- 事務局 : 本資料はパートナーシップ会議が作成され総会で公表されたもので、報告である。
- 会長 : これは、パートナーシップ会議が主体で実施されているものなので、当審議会で審議するものではない。
- 委員 : 第2次環境基本計画策定ワークグループについては、当審議会にも実施状況等の報告をお願いしたい。
- 会長 : ワークグループの実施結果等については、当審議会にも情報提供をお願いする。
- 委員 : 雨水タンクの補助を開始されたと思うが、状況は。
- 事務局 : 現在 19 件申請を受理した。本制度は今年度から開始したもので、雨水タンク本体及び雨どいとの分岐接続に必要な部品に対し、購入額の4分の3、上限4万5千円の補助を行うものである。

◆ ④その他

事務局より次回の開催日時及び議題を説明。

- 会長 : その他にご意見はないか。  
本日は貴重な意見を頂き、熱心に議論できた。  
これで本日の審議회를終了とする。